

R.F.C.M Heartful Report

リスク・ファイナンシャル・カウンセリング・マネジメントのハートフル・レポート===2012年2月号

大企業が一夜で消えるリスクもある

企業が大きくなればなるほど社会に対する責任は重く「リスク対策」を放置したことによる代償は、多くの事例から見る事ができます。

平成12年6月に起きた「雪印乳業(株)・大阪工場」における食中毒事件の事例では、“低脂肪乳等による黄色ブドウ球菌エンテロトキシンA型”が製品に混入したことにより有症者数は14,780名となり、大きな社会問題となりました。

大阪市では「病因物質とする食中毒」と断定し、大阪工場を営業禁止処分としました。

その後、事業分割により事業再生をしていましたが、雪印乳業の子会社である雪印食品でもBSE(狂牛病)問題による売上げ不振を好転させるべく引き起こしたのが「国産牛肉買い取り事業」を悪用した偽装事件で、倉庫会社からの内部告発により発覚したこの事件の結末は、平成17年には「雪印食品」の清算が完了してあっけなく消滅してしまいました。

P.F.ドラッカーの著書によると「社会的責任の問題は、2つの領域において生ずる。第一に自らの活動が社会に対して与える影響から生ずる。第二に自らの活動とは関わりなく社会自体の問題として生ずる」(マネジメント[エッセンシャル版]-基本と原則、著:上田 惇生)

企業経営者が経営リスクに向き合うと言うことは、如何に些細な問題であっても見逃さないということであって、問題が小さなうちに解決しておけば企業の利益損失も小さくて済みますが、小さな問題として放置しておいたが為に、何らかの事態が引き金となって、それが社会自体の問題となって露呈することになれば、社会や経済の許し難い事態を引き起こした企業として存在さえ否定されることにもなります。

「未必の故意」を見逃さない勇気があるか?

社会問題となって騒がれる事件や事故には、それなりの小さな原因の積み重ねによるもので、企業内においては経営幹部からパート社員までがリスクに対して同じ意識のもとでの行動規範をもって業務に当たるこ

リスクから逃げずにリスクに上手に向き合う
「未必の故意」の見ないふりはリスクの極み!

とが大切であり、ときには、自分が属さない他の組織に対しての気づきがあればそれを具申し、それを受けて速やかに過ちを正すことを躊躇わないことでもあります。

その企業内だけでなく社外の取引関係者に対して「目配り」「気配り」「心配り」が、ごく自然に出来るような企業体質を創りあげることと、集積される多くの情報から短時間に取捨択一をしてリスク回避の判断をすることは経営者や患部の大切な役割です。

「リスク回避」を一歩踏み込んで実行するには従業員の一人一人が日頃から感じている『未必の故意』を如何にして公開できるようにするか仕組み作りをすることです。

【未必の故意】

行為者が、犯罪事実の発生することを積極的に意図したわけではないが、自分の行為から場合によってはその結果が発生するかも知れないし、そうであってももしかたがないと思いつつ、なおその行為に及ぶときの心理状態。

「いま自分がしている行為や目の前で起きている状況を放置(見て見ないふりをする)していたらマズイことになるかも知れない...!」と思いつつそれを続けていることは誰にでも少なからず体験していることがあると思いま

すが、それらを早期に開示できるようにする経営者の姿勢こそが『経営リスク』を最小限に食い止めることに繋がってくることなのです。

『未必の故意』を放置することそのものがリスクの極みであり、企業のそのような行動を社会は決して許してくれません。

企業が一夜にして消えてゆくのも、ほとんどの場合、『未必の故意』であり、発生した問題を遡って追求していくと数ヶ月、数年前からその原因の芽があったのです。

社会に受け入れられる企業は、従業員の心の中にある「良心」のもとに正しい仕事をするということと「企業理念」が一致していなければならないのであって、企業は「リスク管理」の統括責任者「CRO(Chief Risk Officer)」を中心にして体制作りを進めることは勿論ですが、**従業員にはリスク・カウンセラーによる業務遂行上で抱えている『未必の故意』の悩みからの解放を支援することが必要とされている時代となっているのではないのでしょうか。**



とすぐ分かります。サザンカの花言葉は、「困難に打ち勝つ」「ひたむきさ」そして「白い花は「愛嬌」「理想の恋」。桃色・赤色は「理性」

東京・御茶ノ水駅の近くの湯島聖堂(新文館)には高さ3〜4メートルの孔子像があり、どこからとはなく人が来て写真撮って帰る。孔子像の近くにひっそりと咲く「サザンカ」。それは桃色の花でしたが、赤や白の花がある。「サザンカ」は日本固有の花だというのですが、九州や四国、沖縄に分布する自生種はほとんどが白花。「サザンカ」は、ツバキの花とよく似ていますが、ツバキは花の萼の付け根からポロリと散るのに対して「サザンカ」は、花びらの一枚一枚がバラバラになつて散るので木の根元を見るとすぐ分かります。

ちよつと歳時記

食が細るのは、酵素の細りが原因だ

腹八分めとか、50過ぎたら7分めがいいなどという、食に関する抑制食事が常識になった感がある。しかし毎年訪れる"敬老の日"に、100歳前後の人への、長生き秘訣のインタビューを聞くと、腹八分めなどの抑制食事を説く高齢者の声を、私はまだ聞いたことがない。

むしろ、「好きな物を、好きなだけ食べとります」という人が多い。「あれは体に悪いから食べない」とか、「これは嫌いだから食べない」という言葉より、「あれは好きだから毎日食べます」とか、「この食事は何十年も続けています」という食事スタイルが多い。

ところで亡くなった森繁久弥さんの語りが、「大遺言書」という本になっている。(現在は、「新潮文庫」)書き手は作家の久世光彦(故人)さん。

この書の中で書き手の久世さんが、「ケーキなんかペロリ...」と森繁さんの食欲の旺盛さを紹介している。森繁さんは、いわゆる健康家だったのである。しかし森繁さんだけではない。

いまや、100歳の現役医師としても有名になった、聖路加国際病院の理事長でもある日野原重明さんと知人が食事を共にし、知人がその食欲旺盛ぶりにびっくりしている。

アメリカのメイヤー博士の実験では、25歳以下100人対69歳以上100人の平均酵素量は「30対1」という結果になった。他の多くの実験でも、高齢者の酵素は低いという。

ところで定年前後になると多くの人は、なぜ洋食より和食を求め、肉食より菜食に移るのか。

それは、我々の生体活動に常在必須の、およそ3千種の酵素(消化酵素などは知る人も多い)が、加齢につれて、どんどん減り続け、消化・吸収・分解・新陳代謝などの、あらゆる生理活動が弱くなるからである。弱った生理活動では、自然と"食が細る"ことになる。

ところが酵素(潜在酵素という)の保有量には個人差があり、森繁さんや日野原さんのように、酵素在庫を豊富に持つ人は、生理活動も活発だから、食欲旺盛なものである。

つまり、元気な高齢者は酵素を豊富に持つために、食欲も旺盛なのが一般的である。元気な高齢者はまた、よく外食も利用するものである。食欲は寿命と密接につながっているのだ。

ということは、加齢とともに"食が細る"人は、酵素も減っているのである。

そこで、"食欲旺盛元気モリモリな中高年"になるには、「酵素を補給してやればいい」ということになる。この理屈は、現実に生かせるのだろうか。

活力旺盛のコツは、**どんどん食べる**ことや!
経営コンサルタント 二見道夫

<年をとったら腹八分目>は修正が必要

熊本に長年の知人がいる。はち切れんばかりの元気な先生だったが、老化が激しく、足腰がすっかり弱くなり、車椅子の利用も考えている、ということだった。

そこで筆者は"野菜と果物と白砂糖"を使って、自家製の酵素液を作り飲むことを奨めた。

すると新春の年賀状に続いて、分厚い手紙を頂戴した。「12月早々に、最初の酵素液を作りました。効き目については、あなたには悪いが、半信半疑でした。ところが1リットルも飲み続けた頃、足腰がオヤ?と思うほど軽快になりました。

並行して、すごく食欲も出てきて、元気に家族もびっくり。

車:椅子の件は、当分無期限延長ということに決めました。

さっき自転車で、買い物にも行きました。あなたの好きな"からし蓮根"も買ってきたから送ります。私にとって酵素液は宝になりました。もう手放せません・・・」

この、元先生は、酵素液づくりも3ラウンドに入ったとのこと。

要するに"年を取ったら腹八分め"と、頭から決め込む考え方は、現実の実態と合わない。

"年を取ったら腹八分め"というのは、減った酵素を長持ちさせようという消極的な知恵である。積極的な知恵は、「酵素を補給してよく食べる」ことである。雪と氷に囲まれたエスキモーの人たちは、海獣を捕獲するとその心臓を、海獣の体温を感じる生温かいままナマで食べる。栄養を摂るのはもちろんだが、酵素を摂るためである。酵素は主に野菜や果物から摂るが、雪と氷の世界で野菜や果物は採れない。ナマの肉を食べるのは、命をつなぐための切実な知恵から出たものである。

酵素には、脂肪を分解するリパーゼ、蛋白質を分解するプロテアーゼ、食物繊維を分解するセルラーゼ、肝臓の酵素にはGOTやGTPも存在し、肝臓の解毒作用を助ける。繰り返すが酵素は、約3千種類もあるという。その酵素を使い切ると、無病でも人は死ぬ。

酵素が足りなくなると、無病でも、「とても疲れる」というのが顕著な特徴。

酵素が足りなくなりや補給しよう。そして、バランスよくどんどん食べよう。それが、元気人間の公式である。"年をとったら腹八分め"という、十把ひとからげの考え方は修正しよう。

(本稿は、年齢約50歳以上の人を対象に、書かせていただいた)

厚生労働省から発表された【厚生労働白書2011版】に『100人を見た日本』というデータの中から、労働に関する項目についてご紹介いたします。

あえて100人としたのは100百分率(%)の表記と同じで、日本の総人口を128,056,000人を分母としてそれぞれの項目を表し、分かりやすくイメージできますね。

=====
仕事をしている人は?
...48.9人(62,570,000人)
自営をしている方は?
...4.5人(5,790,000人)

気になる数値.....4.5人 もしも日本を100人で見たとときの自営業者の人数

雇われている方は?
...42.7人(54,630,000人)
 男性...24.5人(31,330,000人)
 女性...18.2人(23,290,000人)
パートで働いている方は?
...6.6人(8,470,000人)
アルバイトで働いている方は?
...2.7人(3,450,000人)
派遣で働いている方は?
...0.7人(960,000人)
契約社員・請負で働いている方は?
...2.6人(3,300,000人)

フリーターの方は?
...1.4人(1,830,000人)
失業者の方は?
...2.6人(3,340,000人)

=====
長引く平成不況に苦しむ自営業者へ追い打ちを掛ける原因となったリーマンショックに堪え忍び、東日本巨大地震による急激な売上ダウンには天災の恐ろしさを知り、「リスク管理」の甘さを露呈させた東京電力の人災にもめげずに頑張る日本の自営業者に熱いエールを送り続けていきたいですね。
雇われている方(42.7人)にとって大切な職場なのでから...

所有土地に瑕疵があると換価に時間がかかる

不動産コーディネーター 豊田 泰由

土地を所有している目的が事業用で、資金繰りが厳しいときに遊休土地を売却して換価したいときや、相続した土地を売却して現金で分割したいときなどに、その土地に瑕疵があると直ぐには売却できなくて困るケースの相談が多く寄せられます。

土地の地勢など性状の瑕疵には...

崖上に接している土地、崖下に接している土地、沼地にある土地、低海拔の津波の恐れがある土地、活断層上にあったり震度5の地震が多発する土地、洪水、浸水などが頻繁に発生する土地、周辺環境を原因とする瑕疵には...

原子力放射線汚染のある土地、騒音が酷い土地、異臭が強い土地、反社会的勢力の事務所が近い土地、爆発物など危険物取扱施設に近い土地、

土地履歴による埋物障害の瑕疵には...

工場跡地で化学物質による土壌汚染が明かな土地、ガラなど埋物障害がある土地、河川を埋め立てたような土地、自殺者があった土地

土地の権利関係が複雑な瑕疵には...

隣地との境界が判らない土地、隣地の越境建物に侵害されている土地、共有者間に権利の紛争がある土地、相続登記ができていない土地、他の権利者の建物がある土地、畦畔や道路を払い下げてもらわなければならない土地、官民境界が未確定な土地

個別の地形による瑕疵には...

地形が奇形な土地、2m以上道路に接していない土地、旗竿形の土地、無道路の土地など

(問題は早めに解決しておくことをお勧めします)

認知症予防・新書

31

NPO法人 認知症介入指導協会 理事 清輔喜美男=

「レム睡眠行動障害は認知症の初期か？」

- 大阪回生病院・睡眠医療センター 谷口部長 -

日本人の5人に1人が睡眠の悩みを抱えているという。眠りに関する病気は約80種類あるが、大きく分けると3タイプに分かれる。

過眠症

(睡眠時無呼吸症候群)呼吸が10秒以上止まる。大きないびきをかく。

(ナルコレプシー)突然耐え難い眠気に襲われる。

患者は10代中心。入眠時に鮮明な幻覚をみることもある。低酸素状態が続くことで、高血圧や脳卒中、心筋梗塞などの様々な合併症も引き起こす。服用している薬の副作用が影響している場合もあるので注意が必要。

不眠症

(むすむす脚症候群)眠ろうとすると足がむずむずと不快になる。糖尿病の初期に出やすい。

(周期性四肢運動症候群)睡眠中に足がぴくぴくと周期的に動く。

布団を動かすほど激しいこともある。

(うつ病などに伴う睡眠障害)

うつ病は不眠を伴う場合が多い。家族は不眠から病状を知ること大切。

異常行動

(レム睡眠行動障害)

見た夢に合わせて大声を出したり、たたいたりする。夢は覚えているが、動いたことは覚えていない。これまでは単なる「ねぼけ」と思われていた。

50代以上の中高年に多いといわれ「パーキンソン病」や「レビー小体病」の初期症状にみられる。患者の半数が認知症になったという海外の報告もある。「理想的な睡眠時間は7時間」とするのは俗説。個人差があり、年齢を重ねれば減る傾向にある。日中に頻繁に眠ってしまうなど、仕事に支障が出るかどうか、専門医に診てもらって目安。睡眠を決して軽視せずに、健康維持にとって欠かせない時間と考えてほしい(谷口部長)

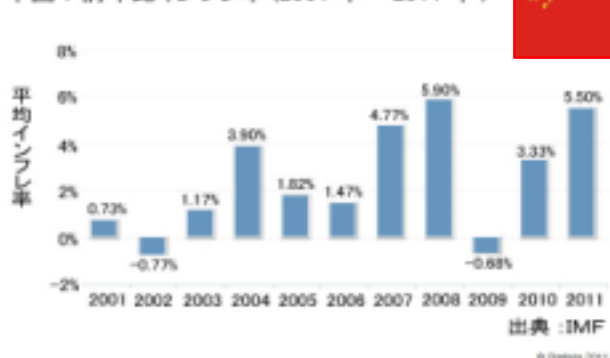
World Now

中国の労働者賃金のコスト高による影響は如何に?!

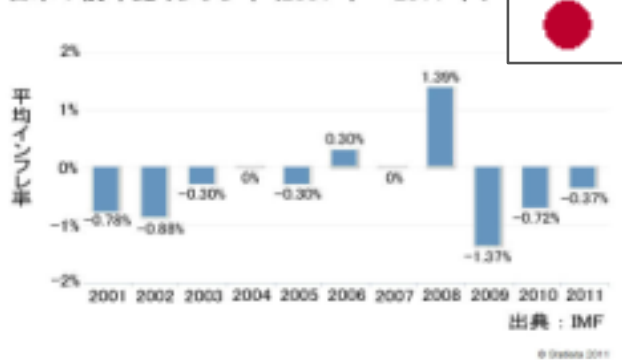
2月8日中国政府は、労働者の最低賃金を前年比1.3%以上伸ばす5か年計画を発表しました。2015年には最低賃金が2010年のおよそ倍になることとなります。これは、国民の所得水準の上昇率を年平均7%以上とする中国の国民経済の中期計画に基づくもので、低所得者層がとり残されないよう配慮したものだと言われています。

一方日本では、大卒初任給も横ばいが続き、ベースアップ見送りや賃金カットのニュースばかりです。今月は、その両国の比較のため、日本(<http://www.statista.com/statistics/166028/inflation-in-japan/>)と中国(<http://www.statista.com/statistics/167115/inflation-in-china/>)それぞれのインフレ率をご紹介します。

中国：前年比インフレ率(2001年～2011年)



日本：前年比インフレ率(2001年～2011年)



「世界の工場」と呼ばれる中国の労働力が高騰しても、ご覧のようなデフレ下にある日本の消費者にコストを転嫁することは難しいと考えられます。加えて、中国のひとりっ子政策により、今後は中国でも労働力が減少傾向となり、人手不足が深刻化すると予想されます。したがって、中国に進出している日本企業は何らかの対応を迫られることになりそうです。

第二の中国となる国が、アジアで生まれるかもしれません。

しかし、人口規模を考えると、ひとつの国が中国の代わりを果たすとすれば、やはりそこでも人件費は高騰するでしょう。そう考えると、中国での生産を日本国内に戻すという選択肢もうまれるかもしれません。

ヒューレット・パッカートの日本法人がパソコンの生産を中国から東京都の自社工場に移管し「東京生産品」と発表したのは昨年夏のことでした。生産性を高め、日本国内に製造業が戻ってくることを、個人的には願っています。

願いはひとつ..再生できる経営者であって!

多くの企業再生に取り組んできて再生できる企業であるかどうかは、第一段階の『スクリーニング』による結果において判断することができます。

『スクリーニング』は、社長との面接から始まり、財務資料をもとに現状の経営危機に至るまでの顛末をお聴きした後、経営陣や従業員、そして経営者の親族などの声に接し、『計数スクリーニング』の裏付けをとりつつ、再生企業の“実態”をより確かなものとして把握することができますが、経営者自身の身辺状況を開示しないために根本的な対策が打てず、的確な再生支援が出来ない場合が多いのは残念なことです。

企業再生に着手するタイミングを見誤ると、それは経営者の意志に反して“倒産分岐点”へと突入していることとなります。

企業経営が順調であるときほど油断は禁物であり、“停滞期”を感じたら徹底的な現状(実態)分析に着手し、自力再生に向けて専門家のスクリーニングを受けることをお勧めします。

“危機の兆し”は見えにくいところに潜伏しています。停滞期にはズルズルと無駄な時間を費やさず見切り千両の決断によって早期に“再生分岐点”の対策に着手することなのです。

スクリーニングは企業経営の“定期診断書”として活用してください。

企業再生が困難な経営者像

経営危機になるべくしてなったような経営者像は共通していて、それは「スクリーニング」の時点で顕著に確認することができます。

恩借り経営を続けてきた経営者...
...恩借りとは、親族や友人から借入したり借入金の連帯保証人になってもらい会社の資金繰りに充てていたという状況のことです。返済のメドがないのに“その場凌ぎの恩借り”をしてきたことにより自分自身が苦しみ、八方塞がりとなった挙げ句の果ては高利の街金融に活路を求め、厳しい借入の取り立てに耐えきれず経営を放置してはいけません。

リスク・カウンセラー奮闘記・93

粉飾決算を当然としてきた経営者...
回収不能の売掛金、換価価値のない不良在庫や仕掛品、故障し廃棄した車両や設備機器類、回収見込みのない貸付金や出資金など、あたかも実態があるかのように資産計上している経営状態では、金融機関に融資申し込みをしても当然に暴露されます。

公私の実態を開示できない経営者...
...中小企業経営者の“資産”や“負債”は『会社=個人』として考えておかなければなりません。再生や再起を図る際には“家族の生活を守る”ための許される範囲内での方策が必要です。それには会社実態の開示と、個人(家族関係)実態(資産と負債)の開示が必要です。

見栄を張り続けてきた経営者...
...企業再生には、経営者の立場を理解し支援してくれる親族、従業員、取引先などの協力なくしてなし得ることはありません。経営者は、謙虚に自省し過去の栄光とキッパリ決別することが大切で、時々刻々と変化する社会状況に添って再生を図る時に過去の栄光は必要ありません。

4つの健康管理(4K)を軽視する経営者...

... Karada . Kokoro . Keizai . Kankyou . は、経営者が常に心がけていなければならない4つの健康のことです。健全なる経営は健全なる4Kが維持されていてこそ成り立つものなので、4Kを放置している経営者には、再起、再生はムリなことでしょう。

コンプライアンスを守らぬ経営者...

...企業の存続は、社会に貢献し多くの人々に受け入れられる経営をしていなければあり得ません。平然と法律を無視したり公序良俗に反する行為で社会的批判を受けるような事業では、再生、再起を図ることは困難でしょう。

企業再生には従業員、取引先など多くの関係者の深い理解と協力がなければ実現することは出来ません。

従って、経営者の過去の言動と経営危機に直面したときの協力者に対する真摯な態度が大きな鍵となってきます。

リスク・カウンセラーが最初に経営者と接する時に一番大切なこととしてお伝えして理解していただくことです。



ご利用ください! 『経営危機から家族を守る!』のしおり

このキーワードは、リスク・カウンセラーが小規模経営者に向けて訴え続けている永遠のテーマです。

正しく“家訓を守り”承継できる会社経営をめざす経営者
急成長したのに資金繰りに行き詰まり再生に挑む経営者
長引く経営不振に決断が先送りになり迷走している経営者
不慮の事故により経営が危機的状態となった経営者の家族
企業再生が失敗に終わり“起死回生”に向けて頑張る経営者
“万が一”の経営危機を回避するには日頃からの備えが必要です。

問題が起きる前に社内勉強会にお役立てください。
出張による少人数制ミニセミナーをお受けしています。



発行者 株式会社 ホロニックス総研
責任者 代表取締役・リスクカウンセラー 細野 孟 士
連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷 1-3-5-12
TEL.03-5684-0021 FAX.03-5684-0031

<http://www.holonics.gr.jp>

【ホロニックス】

(英: Holonic) 全体(ホロス)と個(オン)の合成語。

すなわち組織と個人が有機的に結びつき全体も個人も生かすような形態を言う。生物は個々の組織が自主的に活動すると同時に独自の機能を発揮する一方でそうした個が調和して全体を構成する (小学館「カタカナ語の事典」より)